

2019

4

April 卯月

コーレ倶楽部通信



コーレ倶楽部通信新聞部

〒938-0031 富山県黒部市三日市 20 番地 コーレ
TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207



会場案内「卑弥呼くるべ」にオジャマ

座席誘導は優しく心を込めて

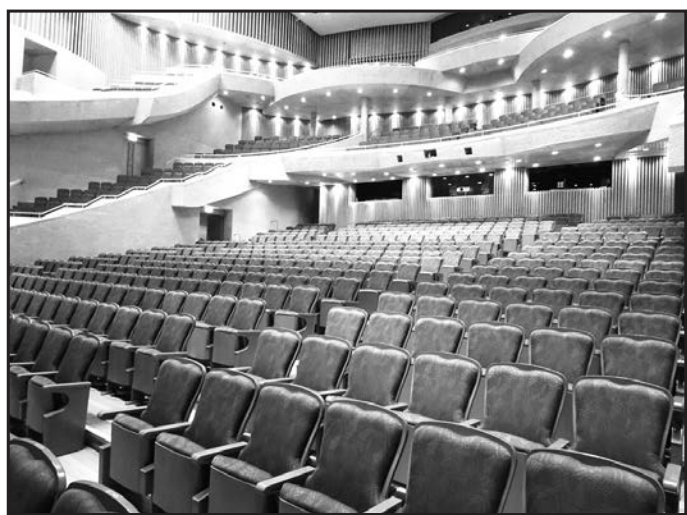
会場案内ボランティアとして、コーレのカーターホールで、いつも爽やかな笑顔とあたたかく心のこもったお出迎えをしているのは「卑弥呼くるべ」の皆さんです。2月のコンサートでの活動を取材しました。

開場 15 分前にカーターホールに次々とメンバーが集まり、胸にボランティアのバッジを付けると活動モードに突入です。今日は昨年末に加わった新メンバーの N さん、また久しぶりに参加できた男性メンバーの S さんも加わって 8 名での活動です。代表の飯野さんを囲んで簡単な打ち合わせをした後、それぞれが左右の入口扉の前で開場を待ちます。「いらっしゃいませ」「お座席おわかりでしょうか。ご案内いたします」と、明るい声と笑顔でのお出迎えが始まりました。ベテランのメンバーが三々五々入場されるお客様を其々の座席に優しく誘導案内。テキパキとした対応は経験のなせる業でしょうか。「開館から 20 年以上たち来場経験のあるお客様も増え、座席までではなく入口扉横に掲示されている大きな座席案内板を使って座席の場所をお客様にお伝えしています」とのこと。「ようこそお越しいただきました」とお迎えするとお客様からも「座席は大丈夫」とうなづいたり、「楽しみに来たのよ!」とうれしい言葉を頂くことも多くあります、とメンバーから説明されました。



2016 年から仲間入りした黒一点(?)の S さんは、自らが県内のオーケストラで演奏し、色々なホールでの演奏会の裏方もこなしてきた経験を活かして、座席表を片手にお客様を穏やかな物腰でエスコートされてきました。昨年末にメンバー入りした N さんは、今回は誘導案内のデビュー。「子供の頃の夢はキャビンアテンダントになってお客様をご案内することだったんだけど、でも身長が伸びなくて諦めました。だから卑弥呼の活動が気になっていたんです」と、明るい笑顔でとても楽しそうに案内されていました。「元気な方が加わって活気が湧いて喜んでます。男性のメンバーも増えると嬉しいです」と代表の飯野さん。

「卑弥呼くるべ」は今年も、一期一会の出会いを大切に人生経験を活かした活動でコーレとお客様をつなぐ架け橋に、活躍が期待されます。(TEXT = か)



卑弥呼たちがご案内するカーターホール。1階から3階まで886席あります。1階から3階まで、何度も往復することがあります。階段が多いので、事故のないよう安全にも心を配ります。



「いらっしゃいませ」「お座席おわかりでしょうか」座席案内板の前で、にこやかにお客様をお迎えします。お座席にもっとも近い扉から入っていただいています。

「卑弥呼くるべ」メンバー募集中

コーレの自主事業公演などで、お客さまを座席にご案内する「会場案内ボランティア」のサークルです。会場案内以外にも、コーレのサポーターとして様々な分野で活動中。参加できる時だけでも結構ですので、ぜひ一緒に。老若男女問わず、男性も大歓迎、お待ちしております。

参加資格：コーレ倶楽部会員（いつでも入会できます）

※ お申し込み・お問い合わせはコーレまで (tel. 0765-57-1201)



今月のひとりごと

人生 100 年に突入

ご近所のご老人が「死んだら他人の世話になるんだから、生きている間に他人の世話をしとかなきゃね」とか、「遺言状を書く勇気もなくて、よく死ぬるネ」などと、お喋りしているのを聞きました。アメリカの企業の責任者は 85% が遺言状を書き、日本では 85% が無関心だという新聞記事を読みました。が、なんのなんの、現代日本の高齢者は前向きにしっかり考えて生きている方がどんどん増えているように思います。

昔は「人生 100 年時代」の言葉を聞くと違和感を感じていましたが、今は納得できる言葉となっています。脳の神経細胞は、大人になると新しくつくられることはないと考えられていましたが、近年の研究では大人の脳でも新しい神経細胞がつけられることが分かってきました。新しい神経細胞が誕生するのは、なんと記憶を司る海馬という場所の一部。認知症の予防法や改善法の可能性が開けてきました。うれしいことですね。

ヒトの脳には感じる力「情」、考える力「知」、意思決定する力「意」があります。職場や学校では考える力がとかく重視されていますが、外に出て、触れて感じる力を育てるのが社会生活を元気に過ごす秘訣とのこと。自身の感性で考え、意思決定できれば、人生 100 年もイケイケドンドンです。 <考えるより感じて>

アクティブグループ

「アクティブグループ」とは、コーレ倶楽部会員の中で、特に意欲的・積極的に活動するメンバーが集う、いわば「サークル」みたいなもの。自己表現したい人、裏方に興味のある人、ボランティア活動したい人……何かしたくてムズムズしているいろんな人たちが、それぞれ自分の得意分野を持ち寄り、無形の情熱を有形に変えていくグループです。何を作り上げるかによって構成メンバーは変化するでしょう。しかし、主役は常にあなた自身です。

アクティブグループ活動場所として、専用の部屋を無料で開放しています。ミーティングなどに、お気軽にご利用ください。興味を持ったサークルがあれば、コーレまでご連絡ください。



コーレ倶楽部アクティブグループ 4月の活動予定

大人のピアノサークル ドレミの会
ピアノを楽しんでいます。特に指導はありません。
▼4月13日(出)・27日(出) 各日 13:00～17:00

弦楽サークル 楽屋ストリングス
ヴァイオリンを楽しみましょう。初心者大歓迎。
▼4月毎週(月) 各日 19:30～22:00

アコギを楽しむ会
アコースティック・ギターを楽しみます。見学歓迎。
▼練習：4月14日(日)・20日(出) 各日 19:00～22:00
ミーティング：4月27日(出) 19:00～22:00

消しゴムはんこづくり べったん
1回だけの参加も大歓迎。初心者もOK、材料費必要。
▼4月25日(木) 19:30～21:00 「さようなら平成」

コンテンポラリーダンス ミラージュゲート
年齢・性別・経験を問わず、ダンスを楽しみましょう。
▼4月11日(木) 19:00～21:00

コーレ倶楽部通信新聞部
この倶楽部通信を毎月作っています。お仲間募集中。
▼ミーティング：4月8日(月) 19:30～21:00

お問い合わせ：コーレ (tel. 0765-57-1201)

こんなン観てきました！

コンサート、お芝居、映画、美術展など、倶楽部会員からの鑑賞レポートが届きました。

BEGIN コンサートツアー 2019

2019年1月26日/カラーレ

結成 25 周年を迎えた BEGIN。全国ツアーの 2ヶ所目でカラーレに来てくれた。メンバー 3 人にドラム・ベースのサポートが入り、5 人でのステージだ。

メンバーがステージに登場すると、いきなり比嘉栄昇のトークタイム。前日に地元・沖縄から 8 時間かけて来た事、飛行機が富山ではなく、小松に着いた事、朝起きたら一面銀世界で感激した事などなど。なかなか終わる気配がなく、上地等と島袋優にうながされてようやく演奏スタート。

第 1 部は最新アルバム「Potluck Songs」の曲を中心に、3 人それぞれがリード・ヴォーカルを執る。と、突然、リクエストタイムに突入。予定外の出来事なのかステージ上やサイドがザワつく。「防波堤で見た景色」など 3 曲の後ようやく本来の進行に戻るが、押し押しで第 1 部が終了。

そして第 2 部。現在、彼らは南米のリズム「マルシャ・ショーラ」を全国に広めているそうで、第 2 部はその「マルシャ・メドレー」だけとの事。客席も全員立って躍りながら足踏みをするのだと……。目標は 7700 歩？ よくわからないうちに曲がスタート。「夢をかなえてドラえもん」からいろんな曲のメドレーで約 15 分。休む間も無く 2 曲目は「太陽のチルドレン」から約 20 分。途中、ステージには黒部市の中央小学校や古御堂交差点など、見慣れた風景が映し出され、その都度に盛り上がる。でもまだ 4000 歩。3 曲目「また逢う日まで」から「笑顔のまんま」「涙そうそう」で締めくり、見事 7700 歩を完歩！ ステージには黒部川の景色が映し出された。

熱気さめやらぬアンコールは「三線の花」「おじい自慢のオリオンビール」そして「島人ぬ宝」「君の歌はワルツ」を唄い上げて終演。あれ、「恋しくて」は!? まあ、家に帰ってゆっくり聴くとしよう。

＜もうすぐ還暦の「えりっ君」♫＞

新垣隆 & 奥村愛 デュオ・リサイタル

2019年2月16日/カラーレ

楽しみにしていた新垣隆&奥村愛デュオ・リサイタルに行ってきました。2年ほど前に、新垣さんの演奏とお話を聴いてから、あふれ出る才能と人柄のファンになりました。その新垣さんの演奏を間近で聴けるとあって、開演前から笑みがこぼれてきました。

前半は、ヴァイオリンの名曲、クライスラーの「愛の挨拶」で幕開けです。奥村さんのヴァイオリンの音色は高音が美しく、透明感があり、とても美人でうっとりしてしまいました。1 曲目の後のトークは、はきはきと饒舌な奥村さんとは対照的に、新垣さんは 1 つ 1 つの言葉を選んでゆっくりと話されます。二人のキャラクターが表れていて、楽しかったです。ヴァイオリンの名曲を何曲か演奏の後、楽器についてのお話がありました。楽器の構造や音の鳴る仕組み、色々な奏法を教えてくださいました。その次の曲は初めて聴く曲でしたが、作曲者自身がヴァイオリニストの作品で、解説してもらっていた奏法が出てきました。今ほど聞いたところでしたので、解りやすかったです。

後半は、作曲家・新垣隆のピアノソナタ。15 歳の時に作ったということで、皆さん驚いていらっしゃるようでした。その年代で作曲はもちろんですが、「弾ける！」ということに素晴らしさを感じました。色々な感情の流れがあるピアノソナタから転じて、ヴァイオリンの曲は、軽快で爽やか。しっとりとした旋律もあり、ラストは天に登っていくかのような気分になりました。

新垣さんの即興コーナーでは、お客様からのいただいたキーワードをイメージした曲を即興で弾くという、私からすると、頭の中はどんな構造になっているのか、尊敬を通り越して、不思議な気持ちになりました。

これからも新垣さんは、美しく素敵なお曲を作っていくと思います。益々、ご活躍される方々の演奏を聴くことができ、幸せな時を過ごせました。

＜はるさん/50代女性＞



プリンセスQP ズバリ占う！あなたの4月の運勢



- 【1月生】力不足の星回り。1人で抱え込まないで。恋愛運良好。金運大盤振舞に注意。仕事の企画スタート不向き。
- 【2月生】きちんとした対応が良い結果になる星回り。恋愛運絶好調。金運は交際費ケチらないのが吉。仕事運絶好調。
- 【3月生】掃除が幸運を呼ぶ星回り。スッキリして吉。恋愛は気分転換必要。金運平穏。仕事は隣の芝生が青く見える。
- 【4月生】環境の見直しで力が湧く星回り。恋愛運絶好調、一段と魅力的に。金運低迷。仕事は必ず周囲に相談を。
- 【5月生】堅実さが大切な星回り。安請け合いはしないで。恋愛運好調。金運低迷。仕事は社外活動にツキがあり吉。
- 【6月生】役に立つ喜びを実感する星回り。恋愛運好調。金運は軍資金は多めに持って吉。仕事運絶好調、人脈が役立つ。

- 【7月生】人から頼りにされる星回り。相手との絆を感じ吉。恋愛運低迷。金運絶好調。仕事は優先順位を重視して吉。
- 【8月生】意外なところで意気投合する星回り。「実は私も」と楽しい。恋愛運好調。金運絶好調。仕事は難問を楽々突破吉。
- 【9月生】親しき仲にも礼儀ありの星回り。謙虚な姿勢で吉。恋愛運低迷。金運は自己投資にツキ。仕事は集中力不足に。
- 【10月生】評価が高まる星回り。人のお手本になりそう。恋愛は希望溢れる予感。金運好調。仕事は勘が冴えて絶好調。
- 【11月生】規則を守りながら融通をきかす星回り。柔軟性を発揮し吉。恋愛は正直な気持ちで。金運良好。仕事運低迷。
- 【12月生】穏やかさを演出する星回り。恋愛運絶好調。金運平穏。仕事は苦い経験の後に大きなチャンスを手にする。

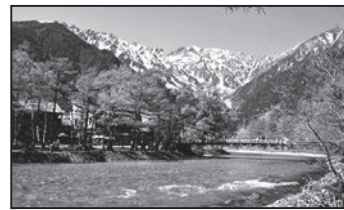
編集後記

- JR東日本が発表した次世代新幹線は、国内最速の時速 360km。その為、先端部分の「鼻」が過去最長の 22 m。速度で生じる騒音を軽減するためだそうです。鼻だけで 22 m、ヒャー！ 2030 年投入予定とな……。 <生きていようね>
- 京都・高台寺でアンドロイド (AI) 観音がお目見えした。機械じみた声で、諸行無常を説く観音は、顔と手はシリコン製で人間のようだが、他は機械丸出しのお姿。動画で見たけど……せんと君より気味が悪いよ、私には。 <バベボ>
- 残すところ平成最後の 1 か月となりました。永いようで短かったこの 30 年。当時読み上げられた平成の元号がまるで昨日のこのように思い返されます。元号が変わっても変わらないのは平和を願う人々の心ですね。 <さよなら平成>
- 20・21 日「ももクロ春の一大事」がいよいよ宮野山で開催。ところで宇奈月温泉はかつて内山村桃原と呼ばれ、桃の産地だったそう。近年「黒部の桃の郷」めざして花桃を植樹中。数年後、宇奈月温泉の名所になるのを待ってちゃ！ <布袋>
- Jリーグサッカーが開幕。連覇を目指すチーム、海外の名プレーヤーを揃えたチーム、メンバー大幅入れ替えしたチームもあり、目が離せないですね。私はスポーツコンテンツを配信する DAZN を利用しており、スマホなどでも楽しめ、身近なものになりました。 <どら>

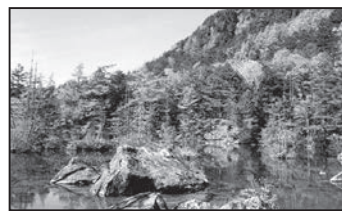


上高地散策

30 年続いた平成の時代も残りわずか、5 月より新元号がスタートします。今年のゴールデンウィークは 4 月 27 日～5 月 6 日の 10 連休。プラチナウィークと銘打って、イベントに旅行にと各方面賑わいそうです。その間はプチ旅行もいくつか楽しめそう。そんな私のささやかな候補のひとつに上高地があります。かつて何度か登山にレジャーにと訪れたことがありますが、ゴールデンウィーク中には一度も訪れたことがありません。そこで、イメトレと言ってはなんですが、とりわけ印象に残った昨年秋に訪れた時のことを紹介させていただきます。



9 月のある晴れた朝、車で自宅を出発。黒部からは奥飛騨まわりが早いので、上高地入口の平湯温泉を目指します。約 2 時間半、駐車場に着きました。ここからは公共バスに乗りかえ上高地へ。紅葉が始まったばかりの山々の景色があまりにも美しく、途中の新大正池で下車、遊歩道を歩くことに。池の対面に、活火山の焼岳が頂上付近から少しの煙を吐いてそびえています。右正面に向かって、西穂高岳から鋸状のごつごつした岩壁が主峰の奥穂高岳に向かって、連なっています。そしてさらに大きく右端の前穂高岳に向かって立て屏風のような巨大な山体を立ち上げています。山好きにはたまらない大スクリーンを目前にして、遊歩道を 1 時間程進むと上高地。ここは国際リゾート地、多くの外国人観光客で賑わっています。英語、フランス語、ドイツ語が聞こえる中、ひととき大きく響くのが中国語。その行動と合わせて、言ったもの勝ちに見えるのが、とても興味深かったです。



上高地には、次女がこの先徒歩で 1 時間ほどの明神館という旅館から迎えに来てくれました。山好きの次女がアルバイトで働いている宿です。

この日はそこが宿泊先、梓川に沿って 1 時間程進むのですが、ここからは上高地の喧噪を離れ登山者の世界。行きかう人は大きなリュックを背負った人がほとんどです。

さて、大自然の大パノラマを眺め心地よい疲れの中、宿に着きました。旅の楽しみのひとつ、夕食時。岩魚の骨酒や山菜料理に舌鼓をうちながら、宿の主人の穂高にまつわる興味深い話に耳を傾けます。一晩ゆっくりすごし翌日は来た時とは対岸の道をたどります。幻想的な明神池にたたずむ穂高神社、そしてお洒落な山の喫茶店を巡って上高地ターミナルに到着、旅のフィナーレを迎えました。

ゴールデンウィークには、また違った表情を見せてくれることでしょう。今から心がわくわくと踊ります。

＜アルペン踊り/男性＞



新聞部からのおてがみ

今年は春の訪れが早く感じられます。百花繚乱の季節、梅に桜、菜の花、チューリップ……花の香りに誘われて、足取りも軽く散歩に出掛けたくりますね。

今月は卓弥呼くろべの特集でした。待ちわびた公演を温かな笑顔で出迎え、案内するお姿は、まさに春の花のよう。カラーレ開館当初からずっと会場案内ボランティアの活動を続けてこられたことは、皆さんの仲の良さあつてのことでしょう。そして新元号になっても、ますます笑顔の花は咲き続く……さあ、貴方の笑顔も卓弥呼で咲かせてみませんか？

＜ペ>



投稿記事募集中

【こんなン観てきました】

コンサート、演劇、映画、美術展等の鑑賞レポート。会場はカラーレ以外でも OK。500 文字程度で、公演タイトルと鑑賞日も忘れずに。

【気ままになんでも写真館】

「畑でできた大きな大根」「我が家のペット」等、何でも OK！ 写真に撮って送ってください。コメントは 150 文字程度で。

【わたしのたび紀行】

国内、海外旅行問わず、旅行の体験を 800 文字程度で書いてください。

カラーレ倶楽部通信新聞部

〒938-0031 富山県黒部市三日市 20 番地 カラーレ
TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207 info@colare.jp